

観光客向けのコンテンツ拡充事業の概要 (案)

1. 背景と目的

訪日外国人観光客数及び消費額は年々増加の一途を辿っており、国全体及び関西への来訪は2017年に過去最高を更新した。また、今年6月の住宅宿泊事業法（民泊新法）の施行を受け、各自治体での受入基盤整備が進むなど、今後地域間競争が激しくなっていくと考えられる。

さらに、滋賀県における2017年の観光入込客数も日本人は過去最高を記録、外国人も大幅な増となる中、今年度開催される県大型観光キャンペーンに向けて各市町での取り組みが進められている。

こうしたことから、本市においても本市の魅力発信とあわせて積極的な受入環境を年次的に整えていくことで観光による経済効果を高めるため、総合戦略に掲げる「観光事業の推進」に係る具体的取り組みとして実施する。

なお、昨年度作成の多言語版観光パンフレットを関空内の観光案内所等に設置することで外国人観光客の誘客を図ることから、誘客後のおもてなしの一環として本事業を実施する。

2. 内容

(1) 観光案内板修繕事業

市の玄関口であるJR栗東駅改札口前に設置している観光案内板の掲載情報を更新するとともに、多言語での案内表示を行う。

(2) 多言語観光案内導入事業

スマートフォンやタブレットを使い、観光施設に設置の案内看板や前述の多言語版観光パンフレットに設置・貼付したQRコードを読み取ることで、文字や画像、音声により多言語で施設案内・解説を行う。

3. 予算見積

(1) 観光案内板修繕 500千円 (看板2枚程度)

(2) 多言語観光案内導入業務 1,300千円

(4言語・多言語版観光ガイドマップに掲載する施設を中心に20箇所程度)

4. その他

観光による経済効果をより一層高めるためには、観光客の滞在・周遊を促進するための仕組み作りが必要である。そのため、今回導入する観光案内の仕組みを活用し、観光周遊コースやイベント・ニュースなどの情報提供、現在地からのルート検索等、年次的に内容を充実させるとともに、この仕組みを快適に利用してもらうため、観光施設等における無料公衆無線LAN環境の整備等に向けた検討を行っていく。

(仮称) 栗東市観光振興ビジョン策定事業の概要 (案)

1. 背景と目的

「商工振興ビジョン後半期ロードマップ」等における観光振興の方向性と具体的施策を示すとともに、「シティセールス戦略」「地域資源活用ビジョン」等の観光関連計画との連携を図りつつ、観光振興施策を計画的かつ効果的に推進するための本市観光の総合的かつ経済効果を最大化する観光戦略として策定する。

なお、観光客数の増加が観光消費額の増大に繋がるとした従来の視点ではなく、地域によって観光客の消費単価や域内調達率は大きく異なることから、本ビジョンでは、質を落とさずサービスの供給ができる安定的な旅行客数や、具体的なターゲットを設定した客単価を高めるためのマーケティング戦略、観光産業をベースとした持続可能な地域づくり等のために必要な施策を明示する。

2. 時期

○ 計画期間

平成32年度から5年間

○ 策定に向けたスケジュール

平成29年度：観光ニーズ調査（観光客ニーズ調査、観光関連産業実態調査）

平成30年度：ビジョン基本構想の策定、関係部署との調整

平成31年度：ビジョン策定に向けた議論・検討～ビジョン策定

3. 内容

策定に向けて、平成30年度に以下の事業を実施する。

○ (仮称) 栗東市観光振興ビジョン基本構想策定

今年度の調査結果を基礎資料として、経済産業省が示す「経済波及効果推計モデル」を活用し、観光による市内経済全体への波及効果（観光客の来訪により観光関連産業にどの程度の売上が発生し、それらを通じて二次・三次的に市内事業者がどの程度利益を得ているか）の算出及び分析を行い、課題・弱みや強み等を明らかにするとともに、基本的な方向性や方針を策定する。

4. 予算見積

1,300千円（外部委託費用として）

5. その他

本ビジョンは、本市の観光の進むべき方向や注力すべきポイント及び具体的施策を示すとともに、市民や団体、事業者等との連携のもと、まちぐるみで継続的に観光客を受け入れる仕組みを構築していく。